

支援プログラム

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス Wish宮の森

作成日

令和 7 年 3 月 18 日

法人（事業所）理念	『個性』に寄り添う。そこから見出す『特性』が、自立した未来への懸け橋に。				
支援方針	「また行きたい！」と思ってもらえるように安心出来る環境を整え居場所となることを目指します。 「出来た！」の経験を重ねて自信を高め、前向きな気持ちで物事に向き合えるようサポートします。				
営業時間	9 時 00 分から 18 時 00 分まで	送迎実施の有無		あり	なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	○身体を動かす機会を多く設け、健やかに過ごすことが出来るよう支援します。 ○年齢を重ねる中で生じる不安などの気持ちに寄り添い、受容の経験を重ね心の安寧が保たれるよう支援します。			
	運動・感覚	○運動活動等を通じて運動機能や筋力の向上、バランス感覚や力加減など様々な感覚の成長を促し、姿勢の保持などが出来るよう支援します。 ○制作活動等を通じて微細な動きの成長を支援します。			
	認知・行動	○視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用し認知機能の発達を促すとともに、苦手な感覚を認識し対処が出来るよう支援します。 ○活動等を通じて認知を把握するとともに誤りや偏りのある認知に対しては特性を配慮したうえで適切な認知に繋がるよう支援します。			
	言語 コミュニケーション	○自分や相手の気持ちを周囲へ伝える、伝わる等の経験を重ね言語の受容と表出するコミュニケーション能力の向上を支援します。 ○消極的・否定的な言動に対してはその意図を理解したうえで適切な表現が出来るよう支援します。			
	人間関係 社会性	○大人や同年代の相手との関わりを通じて、人との関わりを楽しみを見出しながら円滑な関係形成が出来るよう支援します。 ○小集団での取り組みを通じて集団行動への適応が高まるよう支援します。 ○活動等を通じて自分や相手の得手不得手を理解し、協力や協調の意識が深まるよう支援します。			
家族支援	○利用時の様子を保護者様に伝えるとともに自宅等での様子をうかがい情報共有を図り、適時必要な対応等について検討・相談します。	移行支援	○他事業所利用時などにおいて事業所での様子を共有するなど状況に応じて必要な対応を行います。		
地域支援・地域連携	○必要に応じて学校や他事業所等と連携し、支援や対応の一元化が図れるよう対応を行います。	職員の質の向上	○内部外部研修を行い適時情勢に応じた支援が行えるよう努めるとともに支援に必要な資格取得をサポートします。		
主な行事等	○季節に応じた行事を実施しています。（夏祭り、クリスマスパーティ、忘年会 等） ○就学児との交流が出来る合同行事を実施しています。（おたる水族館外出、ピザパーティ等） ○事業所代表 北海道コンサドーレ札幌 菅野孝憲をはじめ、コンサドーレの選手が時々子ども達に会いに来所します。				